

水痘ワクチンの接種を受けられる方へ

水痘ワクチンは1歳を過ぎていれば受けられます。接種による目立った副反応はほとんどありません。まれに接種部の発赤やじんましんがみられることがあります。また接種後1〜3週で発熱、発疹がみられることがありますが、一過性です。接種しても2〜3割のお子さんはその後に水痘にかかってしまいます。しかし症状は軽く、お子さんへの負担は少なくて済みます。

〈接種を受けるときの注意〉

- ① 水痘ワクチンの必要性や副作用について不明な点がある場合は、接種を受ける前に医師に相談して下さい。
- ② 受ける前日は入浴(またはシャワー)をして、体を清潔にして下さい。
- ③ 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認して下さい。
- ④ 清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤ 予診票は接種する医師への大切な情報です。正確に記入して下さい。
- ⑥ 接種を受ける方がお子さんの場合、母子手帳を持参して下さい。
- ⑦ 接種を受ける方がご婦人の場合、あらかじめ約1カ月間は避妊して下さい。

〈予防接種を受けることが出来ない人〉

- ① 明らかに熱のある人。(37.5℃を超える人)
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 過去にワクチン接種や医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④ 妊娠していることが明らかな人
- ⑤ その他、医師が予防接種を受けることが不適當と判断した人

〈予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人〉

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
- ② 発育が悪く医師や保健師の指導を継続して受けている人
- ③ カゼなどのひきはじめと思われる人
- ④ 以前に予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーを思わす異常が見られた人
- ⑤ 薬の投与または食事で皮フに発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ⑦ 過去に中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
- ⑧ 家族、遊び友達、クラスメートのあいだで麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、水痘(みずぼうそう)などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことのない人

〈予防接種を受けたあとの注意〉

- ① 接種を受けたあとの30分間は病院にいるなどして様子を観察し、医師とすぐ連絡が取れるようにして下さい。
- ② 接種後2から3週間は副反応の出現に注意して下さい。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこするのはやめましょう。
- ④ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をして下さい。激しい運動は避けて下さい。
- ⑤ 高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- ⑥ 妊娠可能なご婦人は、接種後約2カ月は妊娠しないように注意して下さい。